

具体的対応方針(構想区域総括表)【案】

久慈構想区域

構成団体(久慈市、洋野町、野田村、普代村)

総面積(km ²)	1,076.88	基準病床数(床)(a)	470	R7必要病床数(床)(b)	354
-----------------------	----------	-------------	-----	---------------	-----

(1)人口

	2015.10.1現在(c)	2020年人口(d)	2025年推計人口(d)
圏域総人口	59,279	54,289	51,654
75歳以上人口	10,487	10,658	11,405
75歳以上比率(%)	17.7	19.6	22.1

(2)医療機関の状況

総病院数	4	(f)
診療所施設数	32	(g)
地域包括ケア 病床数	43	
在宅療養支援診療所	3	(h)
在宅療養支援病院	0	
訪問診療施設数	3	(i)
訪問診療実施件数	10	
在宅看取り施設数	0	
在宅看取り実施件数	0	(j)
医師の総数	68.9	
看護師の総数	351.9	(k)
薬剤師数	18.0	
PT・OT・STの総数	35.0	(l)
10万人当たりの医師の総数	51.6	
10万人当たりの看護師の総数	242.7	(m)
10万人当たりのリハの総数	17.3	
1人当たりの医療費(円)	480,454	(n)
1人当たりの介護費(円)	279,634	(o)

(3)療養病床の状況(m)

病院名	病床数
久慈恵愛病院	42

(4)介護施設等の状況(n)

種類	定員
介護療養型医療施設	19
介護老人保健施設	352
介護老人福祉施設	405
グループホーム	153
特定施設(有料老人ホーム等)	95
サ高住(非特定)	65

受療動向(患者住所地)(e)		
圏域内		67.3
住所地:久慈→		
医療施設	盛岡	7.9
	宮古	0.2
	二戸	1.9
	その他県内	0.9
	県外	21.8

(5)人工透析患者の状況(o)

施設所在地	人工透析実施施設所在圏域別患者数		
	久慈圏域	その他県内	県外
住所地			
久慈市	65	1	0
洋野町	27	2	14
野田村	4	0	0
普代村	9	0	0
計	105	3	14

(6)リハビリテーション支援センター(p)

地域リハビリテーション広域支援センター
県立久慈病院

備考 (R5.11.1現在)(q)
 【回復期リハビリテーション病棟入院料届出病院】なし
 【地域包括ケア病棟入院料届出病院】県立久慈病院(43床)
 【緩和ケア病棟入院料届出病院】なし

出典

基準病床数	(a)	岩手県保健医療計画(2018-2023)	10万人当たりの医師の総数	(j)	R2医療施設調査(※3年に1度実施)
H37必要病床数	(b)	岩手県地域医療構想	10万人当たりの看護師の総数		
2020.10.1現在人口	(c)	岩手県人口移動報告年報	10万人当たりのリハの総数		
推計人口	(d)	日本の地域別将来推計人口(H30推計)国立社会保障・人口問題研究所	1人当たりの医療費(円)	(k)	R2年度厚生労働省 医療費の地域差分分析
受療行動	(e)	患者受療行動調査[令和元年度]	1人当たりの介護費(円)	(l)	介護保険事業状況報告(月報)R5.8月分
総病院数	(f)	R2医療施設調査(※3年に1度実施)	療養病床の状況	(m)	東北地方厚生局届出受理医療機関名簿(R5.11.1現在)
診療所施設数			介護保険施設の状況	(n)	岩手県長寿社会課(R5.10.17現在)
地域包括ケア 病床数	(g)	東北地方厚生局届出受理医療機関名簿(R5.11.1現在)	人工透析患者の状況	(o)	人工透析患者状況(岩手県健康国保課)(R4.9.1現在)
在宅療養支援診療所			リハビリテーション支援センター	(p)	岩手県長寿社会課
在宅療養支援病院	(h)	R2医療施設調査(※3年に1度実施)	回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟入院料届出病院、緩和ケア病棟入院料届出病院	(q)	東北地方厚生局届出受理医療機関名簿(R5.11.1現在)
訪問診療施設数					
訪問診療実施件数					
在宅看取り施設数					
在宅看取り実施件数					
医師の総数					
看護師の総数	(i)	R2医療施設調査(※3年に1度実施)			
薬剤師数					
PT・OT・STの総数					

【具体的対応方針総括表】

稼働病床ベース

構想区域	機能区分	具体的対応方針（稼働病床）								R7 必要病床 数 C	差引 B-C	構想区域 の概況	
		H30時点 稼働病 床 A	R7時点稼働病床数（Bの内訳）										R7時点 稼働病床 B
			県立久慈 病院	久慈恵 愛病院	国保種 市病院	久慈市山 形診療所	洋野町大 野診療所	普代村国 保診療所	竹下医院				
久慈	高度急性期	20	20	0	0	0	0	0	0	20	43	▲ 23	過剰となる機能
	急性期	197	166	0	0	0	0	0	0	166	136	30	急性期 回復期
	回復期	140	59	39	41	0	0	0	0	139	133	6	
	慢性期	42	0	23	0	0	0	0	0	23	42	▲ 19	不足する機能
	休床等	0	85	0	0	19	6	13	0	123	-	-	高度急性期 慢性期
	合計	399	330	62	41	19	6	13	0	471	354	▲ 6	

【具体的対応方針一覧表】

病院名	病院の役割・特色	今後の方向性（病床機能や病院が担う役割・機能など）
県立久慈病院	・圏域の基幹病院及び救命救急センターとしての機能を担い、三次救急医療やがん医療、脳卒中等の高度・専門医療を提供。 ・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供。	・圏域の基幹病院及び救命救急センターとしての機能を担い、三次救急医療や、がん医療等の高度・専門医療を行う。
	・地域包括ケア病棟を運用し、急性期医療後の回復期患者等を受入れ。	・地域包括ケア病棟を運用し、急性期医療後の回復期患者等を受入れるとともに、在宅療養後方支援病院として、在宅療養を担う医療機関が担当する患者の病状急変において受入れを担う。
	・救命救急センター、救急告示病院として、圏域内を中心に救急患者を年間7,250人程度（うち救急車搬送1,880人程度）を受入れ。	・医師（研修医及び専攻医を含む）や医療技術者等の研修・養成支援を通じた人材育成を行う。
	・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ。	・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チームの派遣や被災地内の重症傷病者を受入れを行う。
	・臨床研修指定病院として、臨床研修医を受入れ。	・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。
久慈恵愛病院	・主に回復期、慢性期を中心とした医療提供を行っている。	・継続して回復期・慢性期を中心としつつ、リハビリにも力を入れていく。
洋野町国民健康保険種市病院	・町内唯一の病院として地域医療の中核を担い、二次救急医療や人工透析、皮膚科及び糖尿病外来、地域に出向いての健康講演会を行っている。	・町内唯一の病院として地域医療の中核を担い、二次救急医療や人工透析、皮膚科及び糖尿病外来、地域に出向いての健康講演会を行う。
	・救急告示病院として、年間318人（救急車搬送54件）を受入れ。	・急性期機能を中心としつつ、地域で不足すると見込まれる回復期機能を担う。
	・協力型臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ。	・協力型臨床研修病院として、臨床研修医を受け入れる。

具体的対応方針(岩手県立久慈病院の役割と機能)

所在地 岩手県久慈市旭町第10地割1番

診療科目	内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科
------	---

病床種別 (R5.7.1現在)	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	287	43			4	334
	稼働	236	10			0	246
	非稼働	51	33			4	88

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	154.6	0			2.5	157.1
	R3	163	0			2.2	165.2
	R2	170	5.5			0.7	176.2

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	67.9	0			25.8	-
	R3	71.3	0			34.8	-
	R2	71.7	0			16.2	-

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	13.9	0			4.2	-
	R3	13.3	0			5.9	-
	R2	14.4	58			7.9	-

病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	計
	R4報告	20	166	59		85	330
	R7(H37)見込	20	166	59		85	330

病院の役割・特色

- ・圏域の基幹病院及び救命救急センターとしての機能を担い、三次救急医療や、がん医療、脳卒中等の高度・専門医療を提供。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供。
- ・地域包括ケア病棟を運用し、急性期医療後の回復期患者等を受入れ。
- ・救命救急センター、救急告示病院として、圏域内を中心に救急患者を年間7,250人程度（うち救急車搬送1,880人程度）受入れ。
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ。
- ・臨床研修指定病院として、臨床研修医を受入れ。

今後の方向性(病床機能や病院が担う役割・機能など)

- ・圏域の基幹病院及び救命救急センターとしての機能を担い、三次救急医療や、がん医療等の高度・専門医療を行う。
- ・急性期から回復期の病床機能を担う。・地域包括ケア病棟を運用し、急性期医療後の回復期患者等を受入れるとともに、在宅療養後方支援病院として、在宅療養を担う医療機関が担当する患者の病状急変において受入れを担う。
- ・医師（研修医及び専攻医を含む）や医療技術者等の研修・養成支援を通じた人材育成を行う。
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チームの派遣や被災地内の重症傷病者の受入れを行う。
- ・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。

岩手県地域保健医療計画2018-2023(地域編)の今後の具体的な取組

- 1 高齢化社会に対応した地域料体制の構築について
 - ・高齢者人口がピークを迎えるまでに地域包括ケアシステムを構築する必要があることから、市町村や介護施設等と連携して、地域包括ケアシステム構築に参画する。
 - ・地域包括ケア病棟を適切に運営していくほか、在宅療養後方支援病院（2022年10月届出）として、連携している在宅療養を担う医療機関が担当する患者の病状が急変した際に、必要に応じて受入を行う。
 - ・入退院支援に携わる職員の体制を強化するとともに、地域医療福祉連携室を中心に地域における役割と医療・介護・福祉等関係機関との連携強化を進めていく。
 - ・久慈地域リハビリテーション広域支援センターとして、地域のリハビリテーション従事者に対する研修や、市町村・地域包括支援センター事業への支援・協力をを行う。
- 2 生活習慣病の予防及び医療について
 - ・生活習慣病の予防に関しては、協会健保で取りまとめられる予防検診を主に実施しているが実施人員に限りがあり全てを受け入れられない現状がある。この部分においても医師の不足が関係している。
 - ・医師不足はすぐには解決できない問題であり、病院受診の患者をいかに減らすかを考えると生活習慣病以外の疾病も含めて予防が大事である。当院でも地域住民を対象にした地域講演会を定期的に行っているが参加者が減少している現実があり、開催方式や内容を再考すると共に行政機関や福祉関係機関と協力し啓蒙活動を推進していく。
 - ・医師等体制に対応した、生活習慣病等予防健診の受入れを行う。
 - ・糖尿病外来の開設・運営とともに、糖尿病教室を実施する。
 - ・久慈医学談話会を主宰し、市民公開健康講演会、地域健康講演会など地域住民向け講座を開催する。
- 3 医療従事者の確保及び他職種連携の推進について
 - ・地域の中学生などに医療現場体験等を通して医療従事者の魅力を発信していく。
 - ・医師や看護師等の負担軽減など働き方改革を進め、魅力ある勤務環境を目指すことで、職員の確保を促す。また、初期研修医の受入にあたり地域の魅力を感じてもらい、初期研修修了後もこの地域に戻ってきたい環境を整備していく。

具体的対応方針(久慈恵愛病院の役割と機能)

所在地 久慈市湊町17-100

診療科目	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、皮膚泌尿器科、肛門科
------	--------------------------------------

病床種別 (R5.7.1現在)	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	39	42				81
	稼働	39	42				81
	非稼働	0	0				0

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	33.6	35.9				69.5
	R3	36.5	39.3				75.8
	R2	34.8	36.7				71.5

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	85.5	85.6				-
	R3	93.5	93.6				-
	R2	89.3	87.4				-

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	55.9	157.7				-
	R3	60.3	175.1				-
	R2	51.7	139.6				-
	R1	53.2	155.8				-

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	計
	R4報告			39	42		81
	R7(H37)見込			39	23		62

病院の役割・特色

- ・主に回復期、慢性期を中心とした医療提供を行っている。

今後の方向性(病床機能や病院が担う役割・機能など)

- ・継続して回復期・慢性期を中心としつつ、リハビリにも力を入れていく。

岩手県地域保健医療計画2018-2023(地域編)の今後の具体的な取組

- 高齢化社会に対応した地域医療体制の構築について
県立病院から当院、そして自宅か施設への退院の方向性を確立したい。
それには、専門職の育成が必要。
- 医療従事者の確保及び多職種連携の推進
当院では、奨学金制度で看護師を養成しており、現在まで正看護師4人が働いている。

具体的対応方針(国保種市病院の役割と機能)

所在地 洋野町種市第23地割27番地2

診療科目	内科、外科、皮膚科
------	-----------

病床種別 (R5.7.1現在)	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	41					41
	稼働	41					41
	非稼働	0					0

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	18.9					18.9
	R3	21.6					21.6
	R2	24.9					24.9

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	46.1					-
	R3	52.7					-
	R2	60.7					-

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R4	17.3					-
	R3	14.4					-
	R2	18.1					-

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	計
	R4報告			41			41
	R7(H37)見込			41			41

病院の役割・特色

- ・町内唯一の病院として地域医療の中核を担い、二次救急医療や人工透析、皮膚科、整形外科及び糖尿病外来、地域に出向いての健康講演会を行っている。
- ・救急告示病院として、年間318人（救急車搬送54件）を受入れ。
- ・協力型臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ。

今後の方向性(病床機能や病院が担う役割・機能など)

- ・町内唯一の病院として地域医療の中核を担い、二次救急医療や人工透析、皮膚科、整形外科及び糖尿病外来、地域に出向いての健康講演会を行う。
- ・急性期機能を中心としつつ、地域で不足すると見込まれる回復期機能を担う。
- ・協力型臨床研修病院として、臨床研修医を受け入れる。

岩手県地域保健医療計画2018-2023(地域編)の今後の具体的な取組

- 1 高齢化社会に対応した地域医療体制の構築について
(現状)
 - ・H23年度に介護療養型老人保健施設を併設し、医療と介護が連携した体制を整備
 - ・地域医療連携室設置による退院支援の整備
 - ・認知症サポート医取得の当院医師による認知症初期集中支援チーム等への参画(課題)
 - ・看護及び介護職の人員不足(取組の方向性)
 - ・併設介護療養型老人保健施設及び他の介護施設との連携促進
 - ・認知症サポート医取得の当院医師による認知症初期集中支援チーム等への参画や認知症関連研修会受講
 - ・認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修を受けた看護師を複数名配置
- 2 生活習慣病の予防及び医療について
(現状)
 - ・糖尿病教室、地域に出向いての健康講演会の実施
 - ・20歳のピロリ菌検診、特定健診項目にない塩分測定検査の受入れ
 - ・敷地内禁煙による受動喫煙の防止(課題)
 - ・特定健診や精密検査は通常の診療と並行して行っていることから、受入れが制限される(取組の方向性)
 - ・糖尿病教室、地域に出向いての健康講演会の実施
 - ・糖尿病重症化予防事業への参画
- 3 医療従事者の確保及び多職種連携の推進について
(現状)
 - ・医師、看護師及び医療技術者の不足
 - ・医師、看護師、薬剤師及び診療放射線技師の奨学金養成制度の制定
 - ・医師奨学生免許取得者で研修中の者6名、就学中の看護師1名
 - ・診療応援医師等の派遣要請(課題)
 - ・働き方改革への対応
 - ・奨学金養成制度への応募が少ない。(取組の方向性)
 - ・診療応援医師等の派遣要請を継続
 - ・北三陸ネットの利用拡充

具体的対応方針について

所在地	久慈市山形町川井 9-44-8
医療機関名	久慈市国民健康保険山形診療所

1 診療科目

診療科目	内科、外科
------	-------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R5年報告					19	19
	R7年見込					0	0

3 その他（診療所が担う役割、他の医療機関との機能連携等）

- ・山形地区住民のかかりつけ医として地域に密着した医療を提供する。
- ・平成26年12月より19床全て休床としている。入院需要の減少や宿直を伴う職員体制の構築が難しいことから、今後は病床廃止に向け検討を進める。
- ・地域の基幹病院である県立久慈病院や専門科目を持つ地域のクリニックと連携し、専門医への紹介・退院後や回復期のケアを担っていく。

具体的対応方針について

所在地	九戸郡洋野町大野第 8 地割 83 番地 4
医療機関名	洋野町国民健康保険大野診療所

1 診療科目

診療科目	内科
------	----

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R 5 年報告					6	6
	R 7 年見込					6	6

3 その他（診療所が担う役割、他の医療機関との機能連携等）

<ul style="list-style-type: none">・在宅療養支援診療所の施設基準を満たしており、久慈病院在宅療養後方支援体制とも連携して、基本的な外来診療、看取りにも対応した在宅診療を実施している。・開設以来、6床全て休床としている。今後、地域の医療需要を参考にしながら病床機能の転換を検討していく（将来的には病床を廃止する予定である）。

具体的対応方針について

所在地	普代村第 10 地割字羅賀 4 番地 1
医療機関名	普代村国民健康保険診療所

1 診療科目

診療科目	内科
------	----

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R5年報告	0	0	0	0	13	13
	R7年見込	0	0	0	0	13	13

3 その他（診療所が担う役割、他の医療機関との機能連携等）

・平成3年5月1日より13床全て休床としている。今後、当面休止としつつ、地域の医療需要を参考にしながら廃止または再稼働について検討していく。

具体的対応方針について

所在地	岩手県久慈市中の橋一丁目5番地
医療機関名	竹下医院

1 診療科目

診療科目	内科 産婦人科
------	------------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R5年報告	0	0	17	0	0	17
	R7年見込	0	0	0	0	0	0

3 その他（診療所が担う役割、他の医療機関との機能連携等）

看護職員の減少により急性期医療の対応が困難な状況であり、多くは空床利用のショートステイを行いながら回復期の患者の対応を行っている。
在宅療養支援診療所であるため緊急時入院体制維持に関しては後方支援病院の県立久慈病院と連携している（令和4年10月1日より）。
今後、すべての病床を令和7年までに看護小規模多機能型居宅介護への転換を予定している。（訪問看護ステーション移転により、さらに連携を強化し今ある病床を地域の医療と介護が必要とされる方々に幅広く対応出来るようにすすめていく。）